

103-125

問題文

表は、我が国における1995年と2015年の年齢三区分別人口構成割合及び2035年における予測値を示したものである。以下の記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

| | 年少人口割合（％） | 生産年齢人口割合（％） | 老年人口割合（％） |
|--------|-----------|-------------|-----------|
| 1995 年 | 16 | 69 | 15 |
| 2015 年 | 13 | 60 | 27 |
| 2035 年 | 10 | 57 | 33 |

- 1. 年少人口割合と老年人口割合の和は、従属人口割合となる。
- 2. この表から求められる老年人口割合の倍化年数は、20年より短い。
- 3. 1995年から2015年にかけて、老年化指数は2倍以上上昇している。
- 4. 2015年における老年人口指数は50を上回る。
- 5. 2035年に予測される年少人口指数は15を下回る。

解答

1, 3

解説

選択肢 1 は、正しい記述です。
従属人口割合＝年少＋老年人口割合 です。

選択肢 2 ですが
1995年から2015年の 20 年かけて、 15 % → 27 % と変化しています。 倍までは増加してません。 倍化年数は 20 年より長いとわかります。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 は、正しい記述です。
老年化指数とは、 老年人口（65歳以上人口）を 年少人口（14歳以下人口）で割って 100 を掛けたものです。 老年人口割合を年少人口割合で割って 100を掛けても求めることができます。

1995 年は、 $15/16 \times 100$ です。これは 100 より 少し小さい値です。 2015 年は、 $27/13 \times 100$ です。これは 200 より 少し大きい値です。 従って、2 倍以上上昇しています。

選択肢 4 ですが
老年人口指数とは、 $\text{老年人口} / \text{生産年齢人口} \times 100$ です。つまり $27/60 \times 100$ です。これは 50 を下回ります。 よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが
年少人口指数とは、 $\text{年少人口} / \text{生産年齢人口} \times 100$ です。つまり $10/57 \times 100$ です。 $1/6 \times 100$ が 17% 弱なので、 $10/57 \times 100$ は、15% を明らかに上回ります。 よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,3 です。

類題